



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社 シャルレ

上場取引所 東

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 岩永 信幸

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,756	△5.7	807	23.0	836	21.3	545	51.4
25年3月期第3四半期	16,702	△6.0	656	△53.9	689	△52.5	360	△72.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 651百万円 (15.9%) 25年3月期第3四半期 561百万円 (△58.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.44	—
25年3月期第3四半期	18.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	23,871	19,888	83.3	1,037.69
25年3月期	23,868	19,811	83.0	1,033.70

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 19,888百万円 25年3月期 19,811百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△6.0	430	△41.4	470	△39.6	150	△64.2	7.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	21,034,950 株	25年3月期	21,034,950 株
26年3月期3Q	1,869,217 株	25年3月期	1,869,039 株
26年3月期3Q	19,165,847 株	25年3月期3Q	19,165,972 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や各種経済対策の効果により、企業の収益増加や個人所得の増加傾向が見られる等、景気の緩やかな回復が見られました。

このような経営環境のもと、当社企業グループは「美と健康」の事業領域を中心に、人々の豊かさを追求する企業として、独自性のある商品の開発・提供、魅力的なサービスやビジネスシステムの提供を行うことで「美しく健康的な生活」を提案してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社企業グループの売上高は157億56百万円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益は8億7百万円（同23.0%増）、経常利益は8億36百万円（同21.3%増）、四半期純利益は5億45百万円（同51.4%増）となりました。

#### (国内レディースインナー等販売事業)

国内レディースインナー等販売事業におきましては、販売組織の再活性化と収益構造の改善を方針に掲げ、事業を行ってまいりました。従来どおり「美と健康のシャルレ」として、健康関連分野の商品や化粧品等、機能性が高く、かつ独自性のある商品の開発・提供をより一層強化するとともに、次世代を担うビジネスメンバーの育成や、新たなターゲット層への商品開発等にも積極的に取り組んでまいりました。

繊維系の商品におきましては、前期に引き続き、健康関連分野の商品の拡充を図りました。4月と10月には、ウォーキング等の軽運動に適した商品として「サポートウォーク」のウエアやシューズ等を発売いたしました。6月には、健やかな睡眠をサポートする商品として、抗菌防臭加工を施したガーゼ素材等のタオルケットとシーツを発売したことにより、タオル類の売上が増加いたしました。

9月には、補整力と着用感に優れ、高級感のある華やかなデザインを特長とする定番ファンデーションとインナーの「ドゥヴァンナシリーズ」をリニューアル発売し、ファンデーションの売上が増加いたしました。しかし、カットソーやパンツを中心とするアウターシリーズ「シャルドレッセ」や秋冬の機能性インナー「デイリースーモ」等の新商品の販売不振により、繊維系商品全体の売上は減少いたしました。

化粧品類につきましては、前期に発売いたしました基礎化粧品の「エタリテ ラインII」を中心にエタリテシリーズの売上が好調で、前年実績を上回りました。販促面におきましては、基幹商品の販売活動を促進するキャンペーンを実施したところ、同期間比で売上が増加いたしました。また、6月にはヘアケアシリーズの「シャルエゼ」に「頭皮クリアクレンジング」を、12月には「頭皮エッセンス〈育毛剤〉」を発売し、アイテムの拡充を図りました。このような積極的な販促支援や商品投入の結果、化粧品類の売上が増加いたしました。

営業施策面におきましては、4月に全代理店を対象とした「第30回シャルレ代理店セミナー」を実施し、中期経営方針や各種施策の共有化を図るとともに、代理店との一体感を醸成し、活動意欲の向上を図りました。4月から6月にかけては、前期に引き続き愛用者の拡大を目的に新メイト紹介キャンペーンを実施し、新規顧客の獲得を図りました。9月から11月にかけては、ビジネスメンバーを対象とした「チャレンジコンテスト2013」を開催し、仕入実績に応じたボーナス支給や販促品の提供を行い、販売活動の意欲向上に繋げました。

また、認知度の向上を目的に、テレビコマercialの放映を行ってまいりました。さらに、次世代の愛用者の獲得を目的に、子育て世代の女性をターゲットとするパンフレットを広く一般消費者に配布する等の新たな取り組みを行ってまいりました。

このように、積極的な事業展開を行ってまいりましたが、繊維系新商品の売上減少により国内レディースインナー等販売事業の売上高は156億62百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益は8億99百万円（同2.5%減）となりました。

#### (海外レディースインナー等販売事業)

海外レディースインナー等販売事業におきましては、中国の百貨店で店舗販売を上海の旗艦店を中心に行ってまいりましたが、平成25年8月29日開催の当社取締役会において、香羅奈（上海）国際貿易有限公司が運営する中国におけるレディースインナー等販売事業の撤退を決議し、平成25年10月末までに直営店の営業を終了しております。

当第3四半期連結累計期間における、海外レディースインナー等販売事業の売上高は94百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業損失は36百万円（前年同期は56百万円の営業損失）であります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、有価証券の増加12億円、商品の減少6億65百万円等により、前連結会計年度末に比べ2百万円増加して238億71百万円となりました。

負債は、未払法人税等の増加96百万円、長期未払金の減少1億44百万円等により、前連結会計年度末に比べ73百万円減少して39億83百万円となりました。

純資産は、四半期純利益5億45百万円、利益配当金5億74百万円等により、前連結会計年度末と比較して76百万円増加し、198億88百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.0%から83.3%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月30日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,908	7,754
売掛金	133	149
有価証券	2,409	3,610
商品	4,750	4,084
貯蔵品	34	53
繰延税金資産	486	486
その他	457	210
貸倒引当金	△13	△19
流動資産合計	16,166	16,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,324	1,274
土地	907	907
その他（純額）	528	427
有形固定資産合計	2,760	2,610
無形固定資産		
その他	756	791
無形固定資産合計	756	791
投資その他の資産		
投資有価証券	2,495	2,552
前払年金費用	717	684
繰延税金資産	427	427
その他	558	486
貸倒引当金	△11	△12
投資その他の資産合計	4,185	4,139
固定資産合計	7,702	7,540
資産合計	23,868	23,871

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,062	1,057
未払金	1,424	1,372
未払法人税等	30	127
賞与引当金	185	122
事業整理損失引当金	—	26
その他	226	379
流動負債合計	2,929	3,085
固定負債		
売上割戻引当金	214	216
退職給付引当金	470	436
長期末払金	208	64
その他	234	180
固定負債合計	1,127	898
負債合計	4,057	3,983
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,789	12,759
自己株式	△1,295	△1,295
株主資本合計	19,992	19,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△133	△72
為替換算調整勘定	△47	△2
その他の包括利益累計額合計	△180	△74
純資産合計	19,811	19,888
負債純資産合計	23,868	23,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	16,702	15,756
売上原価	8,938	8,382
売上総利益	7,764	7,374
販売費及び一般管理費	7,107	6,567
営業利益	656	807
営業外収益		
受取利息	24	19
受取配当金	1	1
雑収入	17	15
営業外収益合計	42	36
営業外費用		
支払利息	3	2
持分法による投資損失	4	—
社宅解約損	1	1
雑損失	0	2
営業外費用合計	10	7
経常利益	689	836
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	5	0
投資有価証券評価損	0	—
関係会社株式売却損	257	—
関係会社出資金売却損	57	—
事業整理損	—	131
事業整理損失引当金繰入額	—	26
店舗閉鎖損失	—	21
特別損失合計	321	179
税金等調整前四半期純利益	369	656
法人税、住民税及び事業税	9	111
法人税等合計	9	111
少数株主損益調整前四半期純利益	360	545
四半期純利益	360	545

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	360	545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	201	61
為替換算調整勘定	△0	45
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	201	106
四半期包括利益	561	651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	561	651
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内レディース スインナー等 販売事業	海外レディース スインナー等 販売事業	LED照明 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,335	91	276	16,702	—	16,702
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18	—	—	18	△18	—
計	16,354	91	276	16,721	△18	16,702
セグメント利益又は 損失(△)	922	△56	△89	776	△120	656

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用120百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内レディース インナー等 販売事業	海外レディース インナー等 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,662	94	15,756	—	15,756
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	—	1	△1	—
計	15,664	94	15,758	△1	15,756
セグメント利益又は 損失（△）	899	△36	862	△55	807

(注) 1 セグメント利益又は損失（△）の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用55百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの変更）

第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメント「LED照明販売事業」を廃止しております。

これは、LED照明販売事業を営む株式会社シャルレイテックを平成24年12月3日付で外部に譲渡したことによるものであります。

これにより、第1四半期連結会計期間より「国内レディースインナー等販売事業」、「海外レディースインナー等販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

海外レディースインナー等販売事業において、中国における同事業の事業構造改革の一環で閉鎖を決定した店舗設備の減損損失8百万円を店舗閉鎖損失として特別損失に含めております。また、中国における同事業からの撤退の意思決定にともない、減損損失14百万円を事業整理損として特別損失に含めております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において23百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。